

中津市民病院 広報誌

ゆりかご



Vol.34

令和3年5月発行



目次

- 新事業管理者就任のご挨拶……………P2
- 新院長就任のご挨拶……………P3
- 新任医師紹介……………P4～P6
- トピックス……………P7～P11
 1. 新人看護職員研修修了書授与式・研修医修了式
 2. 特別コラム
～信頼される病院となるためのお手伝い／前副院長 是松 聖悟～
 3. 中津市におけるワクチン接種がはじまりました／オンライン面会について
- 外来診療担当医表……………P12

中津市病院・診療所事業管理者 就任のご挨拶



令和3年4月1日付で中津市病院・診療所事業管理者のご下命を受け、引き続き大分県北～福岡県京築24万人医療圏の地域医療の発展に参画することになりました。院長の職務が病院運営、すなわち医療資源を利用して病院組織を統率し、地域住民へ良質の医療を提供することであるのに対し、事業管理者の役割は病院・診療所経営、つまり経営の質を高めて堅固な経営基盤を築くとともに、将来を視野に入れた戦略策定と人材育成に努めることと認識しています。新病院長と協力して、「病む人の身になって、安全で質の高い医療を提供し地域住民の拠り所となるよう努力します」の病院理念を実践するつもりですので、ご指導のほどお願い申し上げます。

さて、私は平成28年に中津市立中津市民病院院長に就任しました。豊後高田出身であるため中津は故郷同然であり、この5年間、「県北地域に住む人が医療で困ることのないようにしたい」との思いで取り組んできました。1) 小児・周産期の政策医療の安定、2) 救急医療体制の見直し、3) がんや循環器などの高度医療の推進、4) 緩和ケアとリハビリ体制の充実、5) 医師の過重労働軽減、6) 新型コロナウイルス対応などに微力を注いできましたが、院内外の皆様方のご支援を得て、無事にその職責を果たすことができたことは望外の喜びであります。

とりわけ、平成29年に着工した新病棟・リハビリ棟の増築工事は在任期間中の一大事業でした。お陰様で1年3ヶ月の工事期間を経て、緩和ケア・リハビリ・外来化学療法が多機能が充実した施設が完成しました。地方自治体病院で、高度医療、救急、リハビリ、緩和ケアまで整備された施設は類をみません。今後ますます進展する高齢化に備えて、急性期医療を必要とする患者さんをスムーズに受け入れるとともに、早期社会復帰を支援するリハビリから緩和ケアまでシームレスに提供していきたいと考えています。

令和2～3年は、新型コロナウイルス感染の非常事態をうけて医療体制の確保に奔走しました。当院は感染症指定病院ではありませんが重点医療機関としてコロナ対応にあたる一方で、公的基幹病院として一般診療も継続するように努力してきました。今回の新型コロナウイルスの流行により病院の感染症への備えが問われることとなりましたが、スタッフのたゆまぬ努力で院内感染の発生もなく、これまで力を入れていた感染対策の取り組みの成果が結実したものと考えています。ワクチン接種が開始されたとはいえ先の見えない状況ですが、これまでの経験で学んだことを生かし、職員一同が支えあって収束まで前進していきたいと思っております。

「医療従事者を確保しにくい地域医療において市民の安全と安心をどのように担保していくのか」、それが当院に課せられた最大の使命です。今後とも住民の皆様にご満足して頂けるような病院・診療所を目指して精進していくつもりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年4月

中津市病院・診療所事業管理者
是永 大輔

院長就任のご挨拶

中津市民病院は大分県北、福岡京築地域の唯一の中核病院であり、地域の医療機関、住民の皆様から大きな期待が寄せられています。中津市民病院の理念は「病む人の身になって、安全で質の高い医療を提供し地域住民の拠りどころとなるよう努力します。」となっています。患者、ご家族の皆様のお気持ちに沿った医療が提供できるよう努めてまいります。



当院は大分県北の地域がん診療連携拠点病院として、手術、薬物療法、放射線治療によりガイドラインに沿った質の高いがん医療を提供するとともに、「相談支援センター」などで生活の支援を行い、不安なくがん治療を受けられる体制を整備しています。

更に当地域では高齢化が進み生活習慣病、特に循環器疾患を中心とした救急医療の必要性が高まっています。高度な救急医療を提供できるよう力を注いでまいります。

また、小児救急医療センターと連携して24時間体制での小児救急医療を確保し、安心して子供を産み育てられるよう周産期母子医療センターとしての役割を果たしていきます。

昨今は豪雨災害、地震などの災害が頻発しており、当院もDMAT チームを熊本地震、耶馬溪の土砂災害などに派遣するなど災害医療に取り組んでまいりました。万一南海トラフ地震が起これば当院は大分県において重要な拠点となります。引き続き災害への対応能力も高めてまいります。

このように当院が果たすべき役割は多岐にわたっていますが、残念ながら250床という病院の規模、スタッフ数では力に限りがあるのも事実です。地域の医療機関との連携を深めて、地域完結型の医療体制の構築に積極的に取り組み、地域の住民の皆様が安心して暮らせるよう職員一同努めてまいります。

令和3年4月

院長 折田 博之

新任医師紹介

今年度から当院に勤務する医師を紹介します。



外科
江頭 明典 Dr.
(えがしら あきのり)

2021年4月より外科に赴任しました江頭です。これまでに九州大学病院、九州がんセンター、九州医療センター、別府医療センターなどで消化器疾患の診療、特に食道癌・胃癌・大腸癌に対しての外科手術（内視鏡外科）や化学療法に携わってきました。これまでの経験を生かして、大分県北地域の医療に貢献したいと考えていますので、何卒宜しくお願い致します。



外科
梅田 健二 Dr.
(うめだ けんじ)

4月より外科へ赴任しました。梅田と申します。肝胆膵外科を主に消化器外科全般を担当させていただきます。大分県北部中核病院としての医療レベルを落とすことなく、より良い医療の提供に尽力できればと思います。よろしくお願い致します。



外科
内田 博喜 Dr.
(うちだ ひろき)

4月に赴任しました外科の内田博喜と申します。消化器外科の診療を担当させていただきます。専門は肝胆膵外科です。自分にできることを行い、中津市民の皆様の医療に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。



外科
斎藤 駿一 Dr.
(さいとう しゅんいち)

4月に外科に赴任しました斎藤と申します。福岡出身で中津に来るのは初めてです。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



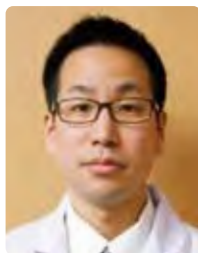
外科
隈部 充 Dr.
(くまべ みつる)

4月に赴任しました外科の隈部と申します。外科医としての歩みを始めたばかりで至らない点もあるかと思いますが、中津市周辺地域の医療に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



心臓血管外科
漆野 恵子 Dr.
(うるしの けいこ)

4月より赴任しました心臓血管外科の漆野恵子と申します。大分医科大学の出身です。各地で勤務したのち約8年ぶりに大分へ戻ってきました。尊敬する先輩方の元で修練が受けれることを大変嬉しく思っております。県北地域での心臓血管診療に少しでも貢献できるよう精進して参ります。ご指導よろしくお願い致します。



小児外科
石本 健太 Dr.
(いしもと けんた)

小児外科の石本です。中津市には初めて来ました。当地のこどもたちの笑顔のため、精一杯がんばります。なにかこどもの病気で気にかかることがあれば気軽にご相談ください。



腎臓内科
柳井 湧翔 Dr.
(やない ゆうと)

腎臓内科として今年から赴任しました柳井湧翔と申します。大分県の生まれですが県北に来るのは初めてです。中津のみならず県北の医療を支える気持ちで精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



消化器内科
山中 昂紀 Dr.
(やまなか こうき)

今年度より消化器内科として赴任しました山中と申します。まだまだ力の及ばないところもありますが、県北の医療に少しでも尽力できればと思っております。よろしくお願ひいたします。



循環器内科
植村 徹也 Dr.
(うえむら てつや)

4月より中津市民病院に赴任しました循環器内科の植村です。県北地域の医療に少しでも力になればと考えています。未熟な点もあるかと思いますが、日々精進していきます。外来、入院等で気になることがあればなんでもご相談ください。宜しくお願い致します。



産婦人科
井上浩太郎 Dr.
(いのうえ こうたろう)

2021年4月より産婦人科へ赴任しました井上です。宮崎県の延岡市出身です。福岡大学を卒業し、大分大学、大分県立病院で診療に携わってきました。中津には初めて来ましたがこれから精一杯、頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



小児科
福島 直喜 Dr.
(ふくしま なおき)

是松聖悟先生の後任で、中津市立小児救急センター長として赴任しました。大分医科大学3期生です。伝統ある国立中津病院時代からの小児医療の継続発展に寄与したいと思います。そして福沢諭吉先生の教えを学び実践していきたいと思ひます。何卒よろしくお願ひいたします。“中津唐揚げ大好き”



小児科
山本 大貴 Dr.
(やまもと ひろき)

4月より赴任しました小児科の山本大貴と申します。大分大学の出身です。昨年度までは大分大学病院で勤務していました。大分市外での勤務は初めてです。一生懸命働きますので、よろしくお願ひします。



小児科
糸長 昌彦 Dr.
(いとなが まさひこ)

小児科に赴任しました、糸長と申します。杵築市の出身で、微力ながら同じ県北地域の医療に携われることをうれしく思ひます。精一杯努めてまいりますので何卒よろしくお願ひいたします。



小児科
西林 隼人 Dr.
(にしばやし はやと)

この度中津市民病院に小児科医として4月より赴任しました、西林隼人と申します。子どもたちが笑顔になれるように診療していきたいと思ひます。まだまだ力が及ばないこともあるかと思ひますが、これまでの経験を生かして、中津市をはじめとする県北の子どもたちの医療に少しでも貢献できるように頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



泌尿器科
中村 暢孝 Dr.
(なかむら のぶたか)

2021年4月より泌尿器科へ赴任しました中村です。福岡県出身です。患者さんにより良い医療を提供できるように精一杯、頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



放射線科
牧瀬 智 Dr.
(まきせ さとし)

4月に赴任しました、放射線科の牧瀬です。これまでの経験や身につけてきた知識、技術を生かし、中津市や周辺地域での医療に貢献できるよう、努めて参ります。よろしくお願いいたします。



放射線科
南條 勝哉 Dr.
(なんじょう かつや)

2021年4月から赴任してきた南條です。徳島大学を卒業し今まで九州医療センター、九州大学病院、宗像医師会病院、九州がんセンターで勤務してきました。大分県に来るのは初めてですが、地域に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



研修医
樋口 棕介 Dr.
(ひぐち りょうすけ)

4月から新しく研修医として働かせて頂きます、樋口棕介と申します。九州大学卒業で福岡県大野城市出身です。学生時に3回の病院見学を行って、症例の豊富さ、柔軟な研修プログラム、各診療科の暖かい雰囲気などにとっても魅かれ、中津市民病院での研修を決めました。臨床の経験が全く無く医師として未熟ですが、1日でも早く中津市の医療に貢献できるよう精進して参ります。何卒宜しくお願い致します。



研修医
金子 裕美 Dr.
(かねこ ひろみ)

4月から中津市民病院で2年間、研修させていただきます、金子裕美です。福岡の北九州市出身です。中津市民病院には学生時の実習でお世話になり、その時からこちらで初期研修をさせていただきたく思っていたので、実現できてとてもうれしいです。2年間、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修医
藤本 廉 Dr.
(ふじもと れん)

4月より中津市民病院で初期研修をさせていただきます、藤本廉です。出身は大分県大分市です。中津には今回初めて住みますが、働きながらこの土地をもっと好きになりたいと思います。至らぬ点もあるとは思いますが、県北の地域医療に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、2年間何卒よろしくお願いいたします。



研修医
岸川 馨一郎 Dr.
(きしかわ けいいちろう)

4月より中津市民病院で研修させていただきます、岸川馨一郎です。佐賀県の出身で中津は右も左もわからない状態ですが、少しでも中津の医療に貢献できるよう頑張りますので、2年間ではありますご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修医
岡田 剣士郎 Dr.
(おかだ けんしろう)

4月から中津市民病院で一年間研修させていただきます、岡田剣士郎と申します。大分県別府市出身です。第一希望である中津市民病院で研修することができて嬉しいです。至らぬ点が多いと思いますが、中津市の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。おすすめのからあげ屋さんがあれば是非教えてください！



研修医
佐藤 貴大 Dr.
(さとう たかひろ)

4月より中津市民病院で研修させていただきます、佐藤貴大と申します。大分県の国東市出身です。実習や見学をしたところから第一希望に考えていたので、今回1年間ではあります中津で研修をすることができ嬉しく思います。ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますがよろしくお願いいたします。

新人看護職員研修修了証書授与式

令和3年3月4日(休)、新人看護職員研修修了証書授与式が行われました。今年は新人看護職員11名が無事に1年間の研修プログラムを終え、修了証書を手にすることが出来ました。研修はマスク着用、席の間隔をあけるなど新型コロナウイルス感染症対策を充分に行い実施しました。これからの新人看護職員の成長が楽しみです。



研修医修了式

令和3年3月11日(休)に令和2年度初期臨床研修の報告会を行い、研修医の皆さんに1年間のまとめをしていただきました。それぞれ色々な症例をこの1年間で経験しており、多岐にわたる内容の報告会となりました。質疑応答も行われ、1年間に経験した内容を詳しく聞くことができました。その後、記念品の授与式が行われました。



特別コラム ～信頼される病院となるためのお手伝い～

前副院長 是松 聖悟

4年間、中津市で24万人医療圏を対象とした小児医療のお手伝いをさせていただきましたが、2021年4月より埼玉医科大学総合医療センターに小児科教授として着任することになり、中津市を離れることとなりました。多くの皆様のご支援、ご鞭撻に感謝申し上げます。

私が大分大学の地域医療・小児科分野担当教授時代から継続している大分県¹⁾⁻¹¹⁾や全国¹²⁾⁻¹³⁾での活動は論文として公表している他、Facebook、Instagram、Twitterでの「大分県の地域小児医療支援（現：地域小児医療支援）」でも紹介しておりますので、本稿では割愛させていただき、この4年間に24万人医療圏で取り組んだ活動を報告いたします。

①是松塾

私自身、研修医時代の8編を含む169編（うち英文43編）の論文を執筆してきたことから、大分大学勤務時より大学病院のみならず地域病院の医師の論文作成を支援してきました。論文を書くことで自らの診療を振り返ることができ、また系統だった鑑別診断と診断、さらには治療法の選択をより科学的にすることができるようになります。つまり論文作成は臨床能力を高めることにつながるのです。中津市に赴任する前には、地域病院に勤務する小児科医の同地での研究を博士論文にお手伝いしたこともあります¹⁴⁾。

中津市では是松塾という論文作成勉強会を月2回程度開催しました。中津市民病院の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師のみならず、周辺の医療機関のみならず、医療圏を超えて多くの医療者が受講にられました。その中でいくつかの論文¹⁵⁾⁻²⁵⁾を出すことができました。

うち、中津の市策に関する2つの論文を紹介します。私は24時間365日、いつでも小児科医が診療できることは、決して子どもを守るための最善の方法であるとは考えていません。なぜならば、救えない命は、どんなに早く病院を受診しても救えないことを知っているからです。現実、それを目指した医療圏は国内に多数ありますが、ほぼすべてがその継続を断念しただけでなく、その体制を敷く医療圏での勤務を避ける医師が増え、逆に医療過疎に陥った医療圏も少なからずあることを知っているからです。一方、医療費を公費助成していつでも受診できる環境を整えた医療圏よりも、病気にさせないための予防接種に公費助成した医療圏の方が、感染症が減ったことを報告してきました¹⁰⁾⁻¹¹⁾。

中津市民病院では2007年に小児科医が8人から5人に減ることを経験し、それまでフリーアクセスであった小児救急センターを21時半に受付終了し、その後は小児科病棟の看護師による電話相談を実施し、必要に応じて受診してもらうシステムを導入しました。また、中津市はその前年度から当時、任意接種であったロタウイルスワクチンの公費助成を導入しました。ロタウイルスワクチンの公費助成によりロタウイルス胃腸炎で入院する乳幼児は激減し、加えて大きな費用対効果を生みました¹⁵⁾。また、前述の深夜の電話相談の導入にて、深夜の受診患者は1/3に減ったにも関わらず、深夜の入院患者数は従来と同等数に確保されました。受診せずとも良かった子どもを適切にトリアージし、電話でアドバイスすることができた結果と考えます¹⁶⁾。これにより小児科医の疲弊は回避でき、子どもの健康も維持される医療圏となることができました。この中津市の取り組みと成功は、この2つの論文によって国内に周知することができました。

是松塾のニーズは広がり、論文作成勉強会のみならず、小児科専門医養成勉強会や小児アレルギーエデュケーター養成勉強会を順次も開講しました。若手医師、研修医、看護師、管理栄養士などが定期的に受講しています。小児アレルギーエデュケーターは大分県内に1名しかいませんが、当院にその取得に取り組むメディカルスタッフは複数いますので、今後も埼玉からWeb開催での支援を目論んでいます。

②院内での委員会活動

私は中津市民病院で、倫理・治験審査委員長、個人情報保護委員長、虐待対策委員長、医療安全管理副委員長、Infection Control Doctorとして感染対策委員を拝命しました。

病院機能評価を受検するとの追い風を受け、倫理治験・審査委員会では「職業倫理・臨床倫理ガイドライン」、「人生の最終段階における最善の医療・ケア提供のための指針と合意書」を作成し、人生会議（アドバンスケアプランニング）を早い時期から、そして何度も行うことの必要性を伝えました。また、臨床でのdecision makingに苦慮する場合に臨床倫理検討チームに相談して、時には第三者の専門家も招聘して、その医療行為の可否を病院として検討することも行いました。そして医学研究に対しては「医の倫理」を遵守した医学研究となるよう、代表研究者に何度も計画書を書き直してもらい、その後に審査を実施しました。また、院内で行う新しい診療技術の導入についても第三者委員も含め審査し支援しました。

個人情報保護委員会としては新しい法律に対応しうるよう個人情報保護規定を改訂し、それに伴い個人情報紛失事故を防ぐためのシステムを作成しました。虐待対応委員会としては、虐待はする側もされる側も大きな心の傷を受けることから、児童虐待、DV、高齢者虐待、障害者虐待時の早期発見と早期対応のフローを作成し支援しました。また暴言・暴力に対する対応フローも改訂しました。医療安全委員会としては、私自身、日本小児神経学会医療安全委員長を長年務めている経験をもとに院内の医療安全推進のお手伝いをしました。さらに感染対策委員会としてはコロナウイルス感染症2019の流行を受け、職員や患者さんの感染対策にお手伝いすることができました。

③24万人医療圏を中心とした活動

大分大学の教授時代に年間50～80回の市民講演をしてきた経験から、中津市でも市民講演や医療、保健、福祉、教育、保育などからの依頼をもとに講演を介した啓発を実施しました。病院内でも何度か講演し、コロナ渦に入ってから会場とWebでのハイブリッド講演を行い、その内容はYouTubeで公開しました。また、市報やフリーマガジンでのコラムを通じた啓発も行いました。中津市に赴任したことで、北九州市をはじめとする福岡県からの講演依頼が増えたことはうれしかったです。

同じく大分大学時代からしてきた学校巡回も中津市で行いました。中津支援学校、宇佐支援学校、北部小学校、如水小学校、大幡小学校、鶴居小学校など。そこでは学校生活に困りを抱える子どもの支援に医療的アドバイスをさせていただきました。それ以外にも中津市教委主催で事例検討会を開催していただき、各学校で対応に苦慮している子どもについての相談を受けました。さらには宇佐支援学校が事務局として実施している合理的配慮を必要とする子どもを支える教育、保育関係者からの相談も担当しました。

加えて、大分県内14市町村での乳幼児健診担当した唯一の小児科医として、中津市、宇佐市、豊後高田市の乳幼児精密健診で、発達に課題を抱える子どもたちが大成するための方策を、保護者、保健師、教育・保育関係者と一緒に考えました。中津市の就学支援委員会ではその子ども達が就学する際の支援を考えることができました。

中津市では井上登生先生による永年の指導のもと、妊娠から就労までの途切れない子育て支援として虐待予防が進められてきており、全国のモデルになっています。その一環として中津市民病院小児科に保健師が採用されており、保健行政との橋渡しに重要な役割を演じていることは全国に誇れる特筆すべきことです。その全貌を中津市に来て学ぶことができたことは何よりも代えがたい財産です。私も微力ながら、出産前後に不安なことや気になることを気軽に医療従事者に相談できる「ママパパ子育てサロン」を月1回開講しました。毎回5～6名が参加し、何度か相談に来る保護者もいました。さらに中津こども食堂と連携し、そこに集まる小児と食事をともにし、食前には学校の宿題を、食後には保護者が迎えに来るまでゲームをともにし、その中で支援が必要な小児がいれば関係者に対応を助言しました。

日本小児科学会で子どもの在宅医療を推進する委員長を拝命していた関係で、大分県からの補助事業を中津市民病院にいただき、県内での小児在宅医療支援を推進し、かつ、中津市における小児の訪問診察を開始しました。医師、研修医、大分大学の医学生のみならず、プロ野球選手にも同行してもらい、その模様はメディアで配信してもらいました。在宅医療をしている子どもとそれを支援している保護者がいることを一般の方に知ってもらうことを目的としてでした。

結語

中津市での4年間で、私のこれまでの経験からお手伝いできたことを列挙させていただきました。新参者のこのような提案を受け入れてくださった病院、市、市民の皆様の温かく広い懐があったおかげです。そしてこれらの活動を研修医の先生や、大分大学から実習に訪れた学生さんと共有させてもらいました。彼ら彼女らに、「地域医療とは何ぞや」を伝えることができよかったです。

中津市での生活は楽しいばかりで、またこれまで得る経験のなかった多くの新しい財産を得ることができました。今後、険しいかもしれない道を選択しましたが、中津市で出会えた皆様のお顔を思い出し、そして大分大学時代には得られず、中津市で得たスキルを武器に新しい任務にあたる所存です。少し遠くなりますが、これからもよろしく願い申し上げます。

文献

1. 是松聖悟. 多職種連携で構築した小児医療過疎地域支援. 日児誌2021, in press.
2. 是松聖悟,ほか. 県補助事業を用いたシステム構築による小児在宅医療の勧め. 日児誌2019;123:1699-1703.
3. 是松聖悟,ほか. 多職種を対象とした小児在宅医療支援の課題についてのアンケート. 日児誌2021;125:32-36.
4. 是松聖悟,ほか. 県統一の給食におけるアレルギー対応手引きの作成. 日児誌2018;32:654-665.
5. Korematsu S, et al. Administration of the adrenaline auto-injector at the nursery/kindergarten/school in western Japan. *Asia Pac Allergy* 2017;7:37-41.
6. Korematsu S, et al. Medical certification reduces the number of children requiring allergen elimination diets for school lunches. *Asia Pac Allergy* 2017;7:92-96.
7. Korematsu S, et al. Pre-school development and behavior screening with a consecutive support programs for 5-year-olds reduces the ratio of school refusal. *Brain Dev* 2016;38:373-376.
8. 是松聖悟. 発達障害のスクリーニングと早期発見～大分県の例を参考に. *Gノート*2019;6:1237-1243.
9. 是松聖悟. これからの小児科医が目指すべき姿とは. *日本医事新報*2018;1917:8-9.
10. 是松聖悟,ほか. 公的補助による任意予防接種と医療費控除の小児医療、地域社会への影響. 日児誌2012;116:1380-1386.
11. 是松聖悟. ワクチンの公費助成が元気な子どもを育む地域を構築する. *up-to-date・子どもの感染症* 2016;4:42-45.
12. Korematsu S, et al. Spike in acute asthma exacerbation during enterovirus D68 epidemic in Japan. *Allergol Int* 2018;67:55-60.
13. Korematsu S, et al. A fact-finding survey of the recommendation on sedation during physiological examinations such as electroencephalogram in Japan. *Brain Dev* 2021;43:208-213.
14. Miyahara H, et al. Elevated umbilical cord serum TARC/CCL17 levels predict the development of atopic dermatitis in infancy. *Clin Exp Allergy* 2011;41:186-191.
15. 是松聖悟,ほか. ロタウイルスワクチンとその公費助成による胃腸炎入院患者数の減少と費用対効果. *小児保健研究* 2020;79:591-596.
16. 祝出理恵子,ほか. 夜間の小児救急体制をフリーアクセスから電話相談によるトリアージへと変更した成果の検証. *小児科臨床*2021;74:313-316.
17. Nagata S, et al. Prognostic nutritional index considering resection range is useful for predicting postoperative morbidity of hepatectomy. *J Gastrointest Surg* 2021, in press.
18. 長濱明日香,ほか. 医療的ケアを要する障害児（者）に対する成人内科系医療機関の受け入れ実態調査. 日児誌2021,in press.
19. 末永朋子,ほか. 脂肪乳剤投与に伴うカテーテル関連血流感染の検討. *日本医療マネジメント学会誌*2020;21:97-100.
20. 半田陽祐,ほか. 過疎地域における病児保育の意義と有用性. 日児誌2019;123:1183-1186.
21. 加藤里絵,ほか. 医療過疎地域における小児タバコ誤飲時の受診の遅れの実態と課題. *小児保健研究*2018;77:649-652.
22. 岩崎智裕,ほか. Creutzfeldt-Jakob病のミオクロームスにレベチラセタム単剤治療が有効であった1例. *地域医学*2019;33:854-857.
23. 加藤里絵,ほか. 新生児期から複数回の精査後、青年期に診断し得た先天性気管食道瘻の1例. *小児科臨床*2019;72:1027-1029.
24. 岩崎智裕,ほか. 乳幼児医療費の公費助成データからみた小児の受診動向. 日児誌2021 in press.
25. 二日市琢良,ほか. 地域小規模病院における急性虫垂炎に対する開腹手術と腹腔鏡手術の比較検討. *地域医学*2020;3434:710-713.

中津市におけるワクチン接種がはじまりました

— 1日でも早く、1人でも多くの方々に、安全にワクチンを接種するために —

中津市 ワクチン

検索



【予約までの手順】

中津市ワクチン接種コールセンター

電話番号：097-533-5670

受付時間：9時00分～18時00分（土日・祝日も実施）

【予約の際に手元に準備していただくもの】

1. 封筒で届いた「接種券」
2. 予約日候補（最低2つ）
3. 「筆記用具」



オペレーターが次の順番で予約を伺います

1. 個別接種（医療機関）か、集団接種（ダイハツ九州アリーナ）かをお知らせください
2. 接種券の「氏名」の上に記載されている「券番号」をお答えください
3. 本人確認のため「氏名」と「生年月日」お答えください「接種希望日時」を教えてください。空いてなければ他の日での申し込みをお願いします

オンライン面会について

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、入院患者さんへの面会を全面禁止とさせていただいており、患者さん及びご家族にはご不便をおかけしております。そこで、少しでも患者さんとご家族に面会機会を設けられるよう下記のとおりオンライン面会を実施しておりますのでご案内します。

【対象者】・スマートフォン等の通信手段をご自身で持っていない方

・病状等によりご自身で連絡を取ることが困難な方

※主治医の判断で、オンライン面会ができない場合もあります。ご了承ください。

【患者さんと面会できる方】

面会ができるのは患者さんのご家族のみとさせていただきます。一家族3人程度。

【予約】

予約制とさせていただきます。

平日の午後1時から午後4時までに市民病院総務課に電話でお申し込みください。希望日の3日前までに予約をしてください。タブレットの数に制限があるので面会日時は予約順で枠が埋まります。ご了承ください。

【面会時間】

平日の午後2時から午後4時、1家族週1回、面会時間10分程度といたします。

①14：00～ ②14：30～ ③15：00～ ④15：30～ の時間帯で予約をとります。

その他、詳細は市民病院総務課までご連絡ください。

外来診療担当医表

※非常勤医師については、記載していません。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科		小路 高史	久米 治	富来 公一	小路 高史 久米 治	富来 公一
消化器内科		大森 薫 山中 昂紀	末廣 侑大 大森 薫	安部 雄治	山中 昂紀 末廣 侑大	安部 雄治
血液内科		池田 元彦	池田 元彦	池田 元彦		池田 元彦
神経内科		太田 浄文		太田 浄文		太田 浄文 (再診のみ)
腎臓内科		青木 宏平	柳井 湧翔	柳井 湧翔	青木 宏平	青木 宏平
小児科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
小児外科						担当医
脳神経外科		古賀 広道	古賀 広道 (午後手術)	古賀 広道		古賀 広道
消化器外科		内田 博喜 中村 駿	江頭 明典 梅田 健二	江頭 明典 内田 博喜 中村 駿	江頭 明典 梅田 健二	内田 博喜
呼吸器外科			福山 康朗 辛島 高志			福山 康朗 辛島 高志
乳腺外科		担当医		担当医	担当医	
心臓血管外科		木村 龍範 嶋岡 徹		木村 龍範 漆野 恵子	木村 龍範 (再診のみ)	木村 龍範 嶋岡 徹 (午前手術) (午後予約のみ)
泌尿器科		岩淵 直人 中村 暢孝	岩淵 直人 中村 暢孝		岩淵 直人 中村 暢孝	岩淵 直人 中村 暢孝 (午後手術)
産婦人科		松本 治伸 佐藤 新平 徳光 隆一 井上浩太郎	松本 治伸 佐藤 新平 森田 泰介 井上浩太郎		佐藤 新平 森田 泰介 徳光 隆一 井上浩太郎	松本 治伸 森田 泰介 徳光 隆一 井上浩太郎
放射線科		日高 啓 牧瀬 智 南條 勝哉	日高 啓 牧瀬 智 南條 勝哉	日高 啓 牧瀬 智 南條 勝哉	日高 啓 牧瀬 智 南條 勝哉	日高 啓 牧瀬 智 南條 勝哉
歯科口腔外科		高橋 喜浩	高橋 喜浩 (新患のみ)	高橋 喜浩	高橋 喜浩 (再診のみ)	高橋 喜浩
緩和ケア外来(予約のみ)				福山 康朗		

※整形外科・耳鼻いんこう科はしばらく休診します。

外来診療案内

受付時間:午前8:30~午前11:00

休診日:土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日~1月3日)

※救急の患者さんやご予約の患者さんは、上記時間外でも対応させていただきます。

表紙...新人看護職員研修修了書授与式

詳細については、7ページにて紹介しております。ご覧ください。

面会時間

(荷物の受け渡しも原則下記の時間です。)

平日:午後1時~午後7時

土・日・祝日:午前11時~午後7時

面会時のお願い

- 当院では、患者さんとご面会の皆様のために面会室を用意いたします。お気軽にご利用ください。
- 入院している患者さんの安静や診療の妨げにならないよう、決められた時間内をお願いします。
- 大勢の面会は、患者さんの安静の妨げになりますのでご遠慮ください。また、お子様は感染防止のうえからも特別な場合を除いてご遠慮ください。
- 病状によっては面会をお断りする場合があります。一日も早く回復していただくためご協力ください。